



# 学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

令和5年10月2日

<10月号>



ホームページ  
QRコード

## 10月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」です

校長 後藤 修治

夏の暑さもやっと和らぎ、秋の気配を感じられるようになってきました。また、スポーツの秋、芸術の秋と言われるように、何をするにも過ごしやすい時季となってきました。10月はランニング記録会に始まり、文化祭と行事も盛りだくさんです。

一つ一つの行事にめあてをもって取り組み、やり遂げ、達成感や自信をもってもらいたいと考えています。子どもたちにとって、成長の秋、実りの秋となるようご家庭においてもご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、10月は「新潟県いじめ見逃しゼロ強調月間」です。新潟県は、学校・家庭・地域が連携して児童、生徒を見守るとともに、社会性を育成し、いじめをはじめとする諸問題の未然防止に取り組む「いじめ見逃しゼロ県民運動」を実施しています。この県民運動の趣旨を踏まえ、いじめが起きやすいとされる6月と10月を強調月間とし、県全体で取組を強化していこうというのが「新潟県いじめ見逃しゼロ強調月間」です。

ではなぜ、6月や10月はいじめが起きやすいのでしょうか？ある脳科学者によると、この時期は日照時間が変わる時期にあたるので、セロトニンの合成がうまくいかず分泌量も減り、その結果不安が強まったり、暴力性が強まったりする時期だそうです。また、大きな行事が終わり、気持ちが緩んだり、目標を見失ってしまったりする時期でもあります。そういった時期であることを大人が理解し、学校や家庭で子どもたちをしっかりと見守っていく必要があります。

今年も10月の全校朝会で、子どもたちにいじめについて考えてもらう機会をもちました。いじめをしている人、いじめられている人、どちらでもない人の心の声を基に、いじめをしない、させない、見逃さないために、それぞれの立場の人にどんな言葉をかけたいか子どもたちに考えてもらいました。

いじめはよくないこと、してはいけないことであることを子どもたちは分かっています。また、子どもたちみんなが優しい心をもっています。しかし、時に感情がいじめは悪いことだという知識や自分の中の優しさを越え、相手が傷つく言動をとってしまう。ですから、繰り返し繰り返しいじめについて考える機会をもち、「いじめをしない、見逃さない、許さない」意識の醸成を図っていかねばいけません。

学校のHPには、学校いじめ防止基本方針を掲載しています。いじめの定義やいじめ未然防止、対応等の在り方について記載してありますので、ご覧いただければと思います。また、ご家庭においても、この機会にいじめについて話題にいただければと思いますし、お子さんのことでご心配なことがございましたら、いつでもご相談ください。